

# 首里城と周辺歴史を学ぶ

マス塾新報

## 恩河尚先生講義



★首里城について、その歴史をとても分かりやすい解説でお話を頂いた。琉球・沖縄文化は、首里城発信の王朝文化であるというお話を聽けて、とても勉強になりました。（照屋一樹）

★首里城は何度も行っていますが、造りなどの説明を詳しく聞いたことがなかったので良かった。文化についてもっと勉強したいと思う。（清水柚里）

★まだ首里城に行つてないので、今回の講義で得た知識で首里城を楽しんでみます。（宮島夏実）

（宮城朋弥）

★本日の講義は、昔の首里城をイメージできるくらい詳しく述べて、歴史について分かりません私でも理解しやすかったです。（伊波秀輝）

（宮城朋弥）

★歴史や城跡に興味があり、楽しみに講義を受けました

★聞き慣れない言葉を理解するのに、いっぱいいました。

（石垣麻太郎）

★学生の頃も先生の授業を受けたのですが、改めて受

★首里城はじめ中城、今帰仁城跡も共通する構造があると分かり、興味深かったです。（今までガイド付きでグスクまーいをしてましたが、気付きました。）

（翁長久仁子）

★首里城を中心として、琉球の政治が栄えていたことは勉強不足でした。歴史を知る事は、かつての琉球、私の沖縄を知ると思います。私にとって有意義でした。

（清水柚里）

★首里城は何度か行つてい

るが、造りなどの説明を詳

しく聞いたことがなかつた

ので良かった。文化につい

てもっと勉強したいと思う。

（伊波秀輝）

★沖縄の歴史を学びたいと

思いました。ファーレンドワー

クに行けるように調整しま

す。（城間賢五）

★今日は難しかつたです。

（武藤亜希）

★一六九〇年に首里城でつ

くられた門中制度が今でも

受け継がれ、姓で生まれが

分かるのは、すごく興味深

い。自分の系図も調べた

なった。（与那覇仁美）

★あまりにも多すぎる情報についていくのに精いっぱ

いでした。再度ひとつひと

つについて確認していきた

いと思います。

（21期 伊東亮）

島マス記念塾  
事務局担当者  
無責任編集  
TEL:937-3385  
MASU@OKICITY  
SHAKYO.COM

島マス記念塾



# フィールドワーク③ FW iii 恩河尚先生

★事前の講義で知識を得、実際に歩く事でより深く学ぶ事ができた。各所に設けられていく門や歴代国王の冠など、どれ一つとってもそれぞれに深い意味があり、つくられたことにより、琉球ロマンを感じた。金城町の石畳や識名園も風情があり、癒された。

辺歴史探訪ツアーリー」に参加出来て、感謝と感動でいっぱいです。講義で学んだ内容を実際に見て歩く事で点と点が結びつく感じでした。人々、歴史は苦手なので、先生の説明を私の頭で理解するまでにかなりの時差を要しましたが、何も知らなかつた時よりは、知識が増えたと思います。特に玉陵碑には限られた人しか葬ることが出来ないよう記された、これに背くと祟るぞ！の意味を知り、国王の権力の強さを物語られていて、少し怖くなりました。現代人で良かった！

★今回の発見は、遺産はその成り立ちや背景を知っている（翁長久仁子）

と残念でなりませんが、これから沖縄に来た友人たちに、沖縄の魅力をもつと伝えられるよう、もつともっと沖縄愛と知識を増やそうと思います。

（武藤亜希）

★車イスユーチャーである私にとって、首里城や玉陵、識名園はハードだった。世界遺産の景観上、階段や凸凹とした段差、坂道が多い。石畠も同様だ。だが、それは、仕方ないと理解しながらも、23期の仲間が恩河先生から解説を受けている間、今頃、ためになる学びが解説されていくであろうなと思いながら、手元にあるはずの資料も私には配布されなかつた。場所によつて

ていう驚きの発見が多くてとても勉強になりました。また、琉球が中国と薩摩との間に挿まれながらも、したたかに外交をしていたり、上手く中国と日本の文化を取り入れた建物を作つたりと、いろんなものの上手に取り入れてすごいと思いました。帰りのバスの中でも、ダイエットの話いや、アツキーナさんのスープーフードの話も聞けて、やつぱり自分の生まれた土地のものを食べるのが一番身体にいいんだなと思いました。今回のフィールドワークで、沖縄の歴史をもっと勉強していくこうと思いました。そして沖縄で作られた野菜をいっぱい食べて、健

て感じました。もう一度、勉強し直して足を運んでみたいと思います。識名園では、觀耕台から見える景色が沖縄では珍しく海が見えず、土地を広く見せる工夫がされていることに感心しました。また、何もない土地では松が一番に生えてくるというお話や橋のアーチの作り方の話も興味深かったです。沖縄は地理的要因ため、中国、日本、アメリカなどに翻弄されてきました。先人たちの知恵を使つた外交、さまざま工夫でバランスをとる姿勢を学び、沖縄を守つていかないといけないと強く思いました。（當間仁美）

★首里城、玉陵、金城町石畠、  
識名園と恩河先生の解説付き  
で巡れて、とても貴重な体験  
ができました。建物や周りの  
風景に趣があつて、もう少し  
ゆっくりしていきたい気持ち  
になりました。特に識名園の  
家屋と庭園の美しさは心に残っ  
ています。恩河先生や島マス  
塾生と行つたぶらり首里の旅  
は楽しい思い出となりました。  
みなさんありがとうございました！

わるということです。首里城には何度か訪れたことがありますたが、今まで見なかつたような細部まで観察し、それぞれの意味を知ることで、これまで感じたことのない感動を得ました。なぜ城の一部だけ赤くなかったのか、なぜ童が五本指じやなかつたのか、なぜ冠のラインの本数が途中から変わるのでか、全てに意味があつて歴史に繋がつていたんですね。ガイドの重要性に気づかされ、私がガイドだつたころに気づいていたらなあ

時間に感じた。玉綾だけは唯一、同行した男性に介助をしてもらひながら終始、仲間と行動を共にすることが出来た。従つて、恩河先生の話は、あまり聞くことが出来なかつた。残念。（伊波秀輝）

★今回のフィールドワークは、恩河先生のガイド付きで首里城や玉陵、識名園などに行けて、自分で行つたら絶対素通りする国王の絵や屏風、石積みなども、恩河先生のガイド付きだったのでまじ——！つ

★久しぶりに首里城を訪れました。数年前、那覇まちまいのガイドさんにお願いして廻ったことがあります。恩河さんのマニアック説明も面白く、歴史を色々な視点からみるのも楽しいなと思いました。講義の時に習った「風水概念」が頭に入っていますが、たので、理解が浅く後悔しました。歴史を学びることの大切さは重々わかつてますが、「琉球」を学ぶ上でネックなのが用語（単語）だなど改め

A group of approximately 15 people, including men and women of various ages, are gathered in front of a large, traditional Chinese-style building with a prominent red roof and intricate gold-colored decorations. The group is posed in two rows on a paved area with red and white stripes. In the front row, a man in a wheelchair is on the left, and a woman is seated next to him. Behind them, several more people are standing, some holding small papers or documents. The background features the grand architecture of the building, which appears to be a historical or cultural site.

